

# つながり

令和6年3月号 第62号

発行責任者

センター長：與那嶺

編集者：名嘉山

沖縄市高原 1-1-38

☎ 098-923-0553

NPO法人きづき



## 第2回 圏域地域ケア会議

地域包括支援センター東部南地区

高台に避難  
してください



## 地域と福祉事業所とともに図上訓練（DIG）

2月14日は地域包括支援センター東部南が主催する「第2回圏域地域ケア会議」を開催しました。参加者は東部南地区の自治会長、老人クラブ、民生委員、ボランティア、デイサービス、居宅ケアマネージャー、社協、相談支援事業所など、38名の参加がありました。

「災害時の地域連携について」をテーマに、自治会ごとに図上訓練（DIG）を行いました。地震・津波災害発生をリアルにイメージし「どこから、どこに、どのように避難するのか」を各自治会で防災マップを照らし合わせ、自由に意見を出し合い、より良い方法を話し合いながら進めていきました。

防災対策の視点で「地域の特徴」について考え、気付いたことを共有、被害を軽減する対策方法について共に考えることができました。



泡瀬地区の地図は、防災マップの津波ハザードマップで確認すると津波避難対象地域！

となっている。住民の防災意識を高め実践的な避難訓練が必要！時間との勝負！住民の最短の避難経路を考えていきたい。



泡瀬

高原

高原地区は、土砂崩れ、地滑り、傾斜地崩壊などが多い地域。

危険個所を把握して、津波避難ビルへ安全な避難経路で移動が行えるよう、日頃から防災に対する自助力を高めていけるようにしていきたい。



比屋根地区は、津波避難ビル、津波避難場所、指定緊急避難場所があり、災害時緊急避難通路が整備されている。

土砂災害、地滑り、家屋倒壊など危険な場所を把握して、安全に避難することができるようにしたい。



比屋根



与儀

与儀地区には災害時緊急避難通路がある。地域の特徴として土砂崩れ、地滑りや家屋倒壊などの危険個所が多い、避難場所まで安全に避難できるように日頃から地域の特徴を把握し、自助力を高めていきたい。



## きづきカフェ in 福祉文化プラザ



### 「きづきカフェ」=認知症カフェとは？

認知症の人やその家族が、地域の人や専門職とお互いに情報を共有し、理解し合う、交流の場です。介護者の負担軽減を目的としており、くつろぎながら、情報収集・情報交換、ストレス発散などができます。現在、東部南地区で定期開催している認知症カフェは「きづきカフェ」です。認知症カフェで地域の多くの方が、認知症を正しく理解し、適切なコミュニケーション方法を知ることによって、誰もが**住み慣れたまちで自分らしく生活をするまちづくり**ができます。これからも地域の公民館、福祉事業所、企業などと連携しながら地域のネットワークづくりを推進していきます。

毎月\*第2金曜日\*

午後2時~3時半

- \*がんじゅう体操
- \*ミニゲーム\*小物作
- \*うたごえ\*ゆんたく~



三線~♪ピアノ~♪のボランティア演奏、みんなで楽しく歌います♪

### きづきカフェ in 与儀

新たな集いの名前は~!

### 『ももとせ会』(百歳会)

~今は、人生100歳時代と言われていきますので~



与儀公民館で開催していたきづきカフェは、開催を重ねていく中で地域のニーズに合わせて高齢者サロンの活動になりました。昨年12月から高齢者サロンの立ち上げに向けて準備を進めてきました♪

地域の情報を発信!



エフエムコザ  
FMKOZA 76.1

a.m.10:00~11:00

まるっとつながるラジオ

まるラジ

※YouTubeで視聴できます♪



## 2月20日のまるラジ

今回は、社会福祉士を目指し包括支援センター西部南で実習中の学生、金城さんと名若さんをお招きしました。

- 🎵 私たちが社会福祉士を目指したわけ
- 🎵 地域のサロンに参加!楽しいです
- 🎵 お二人のリクエストは80年代の名曲
- 🎵 大学での学びの実践体験にワクワク



## 沖縄市地域包括支援センター東部南きづき

☎923-0553

地域包括支援センターとは

65歳以上の総合相談窓口です。  
お気軽にご相談ください。



泡瀬